

空土ファーム生きもの調査 5月報告書

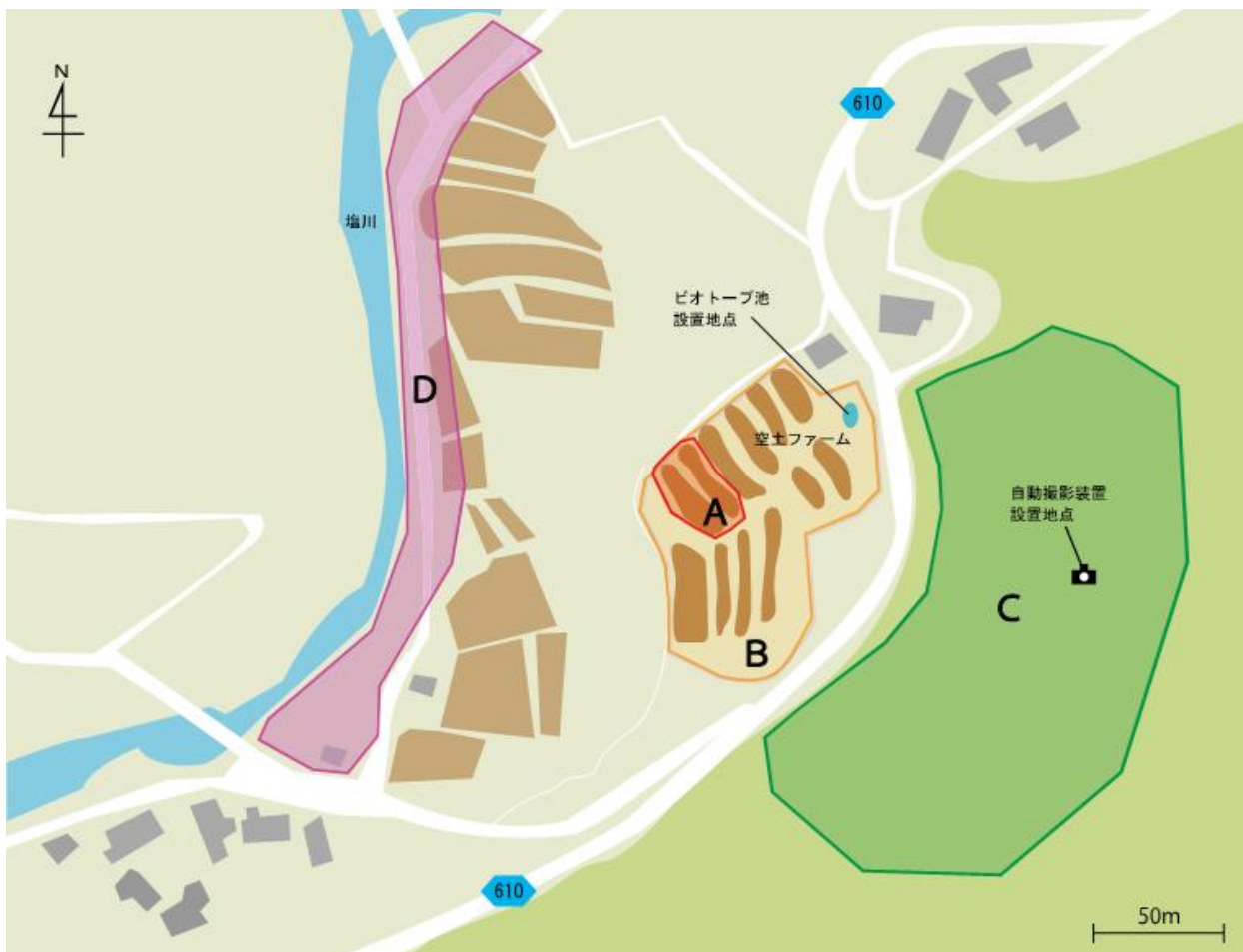
1. 調査の概要

1) 調査の目的

山梨県北杜市須玉町増富地域にある空土ファームの中で、2018 年度に再耕作された耕作放棄地の生物多様性がどのように変化するのか、周辺環境も含め調査を実施する。また、その調査結果をもとに、一般向け自然観察会の実施や、ハンドブック作成も視野に入れる。

2) 調査方法・結果

- ①調査地：山梨県北杜市須玉町増富地区「空土ファーム」とその周辺緑地（図一1、図一2）
なお、今回の調査では、4カ所の調査地点を設定し、地点ごとに確認した動植物を整理した。また、2018年に設置したビオトープ池も調査地点として設定した。



図一1 調査エリアマップ

- ②調査日程：2020年5月20日 10:00～16:00



A 地点



B 地点



C 地点



D 地点



ビオトープ池

図一2 各調査地全景

③調査対象 : 鳥類、チョウ・トンボ・バッタ類等の大型昆虫類を中心に、姿・声・行動等を確認すると共に写真撮影を行った。両生類、は虫類、ほ乳類等は適宜調査した。植物に関しては、開花・結実しているものを記録した。また、C 地点に自動撮影装置を設置し、夜間に活動する哺乳類などの記録を行った(図一3)。なお、今回は年度はじめの調査のため、自動撮影装置の設置のみを行った。



図-3. 設置された自動撮影装置の様子

2. 空土ファームで見られた生きものたち

1) 空土ファーム 生きものピックアップ

サンショウクイ (C地点):

今回の調査では、C地点でサンショウクイという、環境省レッドリストで準絶滅危惧 (NT)、山梨県のレッドデータブックでは絶滅危惧Ⅱ類 (VU) に指定されている野鳥が確認されました。この鳥は山梨県では夏場に見られる渡り鳥で、山地の林などで主に昆虫類を捕食します。空土ファームの周辺の森は昆虫が多く利用する落葉広葉樹の木々が多く生育しているため、サンショウクイが飛来したと考えられます。



サンショウクイ (C地点)

2) 各調査地で見られた生きものたち



アカガネサルハムシ (D地点)

ブドウの仲間の葉を食べる昆虫で、撮影時もノブドウの葉についていました。



ウスバシロチョウ (A,B,D地点)

春の間だけ見られるチョウの仲間です。毒草であるムラサキケマンに産卵します。



サカハチチョウ (D 地点)

山地の林道沿いなどで見られます。撮影時はミツバウツギの花に飛来し、蜜を吸っていました。



ツマキチョウ (D 地点)

ウスバシロチョウと同様、春の間しか見られないチョウの仲間です。アブラナ科の植物に産卵します。



コンロンソウ (D 地点)

川沿いなどの、やや湿った場所に生育します。花には様々な昆虫が飛来していました。
※山梨県 RDB：準絶滅危惧種 (NT)



ヒレアザミ (D 地点)

塩川横にある草地に生えていました。かなり古い時代にヨーロッパなどから帰化したと考えられています。



イカル (C,D 地点)

太いくちばしで木の実などを割って食べます。数羽の群れを成して木々を移動していました。



カワラヒワ (D 地点)

空土ファーム周辺では一年を通じて見られる野鳥です。木の実や昆虫などを食べます。

3) 空土★生きものコラム ～冬を越えたビオトープ池～

昨年9月の報告書で、ビオトープ池に多くの昆虫類が利用していることを紹介させていただきました。あれから冬を越え、ビオトープ池はどうなったでしょうか？—昨年の冬では、池の水がすべて凍ってしまったので、今年も昆虫たちがうまく越冬できるか心配でしたが、果たして…。

今回の調査で池を調査すると、池の周りのいたるところでトンボのヤゴの抜け殻が多く見られました。どうやら無事に池の中で越冬し、羽化することができたようです！前回紹介したガムシやヒメゲンゴロウなど、そのほかの多くの昆虫も確認できました。今回の冬は例年に比べて暖冬だったことも幸いし、昆虫たちは無事に越冬できたようです。また、水路を整備し、わずかでも水に流れが出るようにしたことも幸いしたようです。

今後も池の中に生きものの隠れ家を設置するなど、生きものの棲みやすい環境を作り、より多くの生きものが利用できる場所にしていきたいと思っております。



クロスジギンヤンマのヤゴの抜け殻（ビオトープ池）

3. 調査結果

表.1 調査地内で見られた生物種(草本)

調査地域	種名	状態	備考	山梨県RDB	環境省RL
A	イヌナズナ	○、fr			
A	オオイヌノフグリ	○、fr			
A	オニタビラコ	○			
A	カキドオシ	○			
A	コハコベ	○			
A	シロツメクサ	○			
A	スズメノカタビラ	fr			
A	スズメノテッポウ	○			
A	セイヨウタンポポ	○、fr			
A	タチイヌノフグリ	○、fr			
A	ナズナ	○、fr			
A	ノミノフスマ	○			
A	ヘビイチゴ	○			
A	ミミナグサ	○、fr			
A	ムラサキツメクサ	○			
B	イヌナズナ	○、fr			
B	オオイヌノフグリ	○、fr			
B	オドリコソウ	○			
B	オニタビラコ	○			
B	カキドオシ	○			
B	コハコベ	○			
B	シロツメクサ	○			
B	スカシタゴボウ	○			
B	スズメノカタビラ	fr			
B	スズメノテッポウ	○			
B	セイヨウタンポポ	○、fr			
B	タチイヌノフグリ	○、fr			
B	ナズナ	○、fr			
B	ノミノフスマ	○			
B	ヒメオドリコソウ	○			
B	ヘビイチゴ	○			
B	ミミナグサ	○、fr			
B	ムラサキケマン	○			
B	ムラサキツメクサ	○			
C	オオヤマフスマ	○			
C	カキドオシ	○			
C	コガネネコノメソウ	fr		絶滅危惧1B類(EN)	
C	フタリシズカ	○			
C	ミヤマハコベ	○			
C	ムラサキケマン	○			
C	ムラサキマムシグサ	○			
D	アマドコロ	○			
D	イヌナズナ	○、fr			
D	オオイヌノフグリ	○、fr			
D	オドリコソウ	○			
D	カモガヤ	fr			
D	クサノオウ	○			
D	コハコベ	○			
D	コンロンソウ	○		準絶滅危惧(NT)	
D	シロツメクサ	○			
D	タチイヌノフグリ	○、fr			
D	ノミノフスマ	○			
D	ハルジオン	○			
D	ヒレアザミ	○			
D	ヘビイチゴ	○			
D	ムラサキツメクサ	○			
D	ヤハズエンドウ	○、fr			
D	ヤブヘビイチゴ	○			

○:開花 Fr:結実 △:つぼみ ▽:花期終了

表.2 調査地内で見られた生物種(木本)

調査地域	種名	状態	備考	山梨県RDB	環境省RL
D	ミツバウツギ	○			
D	アケビ	○			
D	ヤマブキ	○			
D	コクサギ	▽			
D	オニグルミ	○			
D	フジ	○			

○:開花 Fr:結実 △:つぼみ ▽:花期終了

表.3 調査地内で見られた生物種(昆虫)

調査地域	種名	状態	備考	山梨県RDB	環境省RL
A	ウスバシロチョウ				
A	ベニシジミ				
A	モンキチョウ				
B	アメンボ				
B	ウスバシロチョウ				
B	キアゲハ				
B	クジャクチョウ				
B	コアオハナムグリ				
B	シオヤトンボ				
B	セイヨウミツバチ				
B	ツマグロオオヨコバイ				
B	ビロウドコガネ				
B	ムナキルリハムシ				
B	モンキチョウ				
D	アカガネサルハムシ				
D	アサヒナカワトンボ				
D	ウスバシロチョウ				
D	オオマルハナバチ				
D	オツネントンボ				
D	カクムネベニボタル				
D	キムネクマバチ				
D	クサギカメムシ				
D	クロアゲハ				
D	クロオオアリ				
D	クロサナエ				
D	コジャノメ				
D	サカハチチョウ				
D	ジョウカイボン				
D	スジグロシロチョウ				
D	セイヨウミツバチ				
D	ツバメシジミ				
D	ツマキチョウ				
D	トラマルハナバチ				
D	ナナホシテントウ				
D	ナミハナアブ				
D	ハグロケバエ				
D	バラリリツツハムシ				
D	ヒメウラナミジャノメ				
D	ビロウドツリアブ				
D	ベニシジミ				
D	ホソヒラタアブ				
D	ホソミオツネントンボ				
D	マドガ				
D	ミヤマチャバネセセリ				
D	モンキチョウ				
D	モンシロチョウ				
D	モンシロチョウ				
ビオトープ	ガムシ			絶滅危惧Ⅱ類(VU)	準絶滅危惧(NT)
ビオトープ	クロスジギンヤンマ		幼虫		
ビオトープ	シオヤトンボ				
ビオトープ	ヒメアメンボ				
ビオトープ	ヒメゲンゴロウ				
ビオトープ	マツモムシ				

表.4 調査地内で見られた生物種(両生類)

調査地域	種名	状態	備考	山梨県RDB	環境省RL
A	ニホンアマガエル				
B	ニホンアマガエル				
D	ニホンアマガエル				

表.5 調査地内で見られた生物種(鳥類)

調査地域	種名	状態	備考	山梨県RDB	環境省RL
C	アカゲラ	c			
C	イカル	v			
C	エナガ	c			
C	コゲラ	c			
C	サンショウクイ	s		準絶滅危惧 (NT)	絶滅危惧II類 (VU)
C	センダイムシクイ	s			
C	ノスリ	v			
C	ハチクマ	v		絶滅危惧 II 類 (VU)	準絶滅危惧 (NT)
C	ヒヨドリ	v			
C	ホオジロ	c			
D	イカル	v			
D	ウグイス	s			
D	オオヨシキリ	s			
D	ガビチョウ	c			
D	カワガラス	v			
D	カワラヒワ	v			
D	キジ	s			
D	キセキレイ	v			
D	シジュウカラ	v			
D	スズメ	v			
D	ツバメ	v、fl			
D	ヒヨドリ	v			

v:目視 c:地鳴き s:さえずり fl:飛翔 fd:採餌